英文法 L01 第 30 講 to 不定詞の副詞用法

学習目標

行動の目的や感情の原因を表す基本的な文脈で、to 不定詞の副詞的な働きを判断することができる。

1. to 不定詞の副詞用法とは

to 不定詞の副詞用法

to 不定詞の基本形は **to＋動詞の原形** である。

副詞用法とは、to 不定詞を使って、行動の目的や感情の原因などを付け加える働きのことである。

代表的な意味は次の 2 つである。

働き	基本的な意味	判断するときの問い
目的	～するために	何をするための行動か
感情の原因	～して、～できて	なぜその感情になったのか

to 不定詞の副詞用法では、文の中心となる行動や感情に対して、追加の情報を示す。

名詞用法や形容詞用法と区別するには、to 不定詞が何を説明しているかを確認することが重要である。

2. 行動の目的を表す副詞用法

何をするための行動か

目的を表す to 不定詞は、「～するために」という意味を付け加える。

次の英文を見てみよう。

Pair 1

I went to the park to run.

私は走るために公園へ行った。
この文の中心となる行動は **went to the park**（公園へ行った）である。

そこに **to run**（走るために）が加わり、公園へ行った目的を説明している。

「なぜ公園へ行ったのか」と考えると、「走るため」という答えが得られる。これが目的を表す副詞用法である。

ただし、目的を表しているからといって、その行動が実際に完了したとは限らない。この文から分かるのは、走ることを目的として公園へ行ったということである。

3. 感情の原因を表す副詞用法

なぜその感情になったのか

to 不定詞は、感情が生じた原因を説明することもある。

©ミライコーチング

Pair 1

I was happy to see my friend.

私は友人に会えてうれしかった。
この文では、**was happy** が「うれしかった」という感情を表している。
to see my friend は、その感情が生じた原因を説明する部分である。
「何をするためにうれしかったのか」ではなく、「なぜうれしかったのか」と考える。
友人に会えたことがうれしさの原因なので、この to 不定詞は感情の原因を表している。



図 1　行動の目的と感情の原因

図の題名 Purpose and cause は「目的と原因」を表す。Purpose は「目的」、Cause は「原因」、intended goal は「意図した目標」、PARK は「公園」という意味である。went to the park は「公園へ行った」、to run は「走るために」、saw my friend は「友人に会った」、felt happy は「うれしく感じた」を表す。

目的と感情の原因を区別する

目的と感情の原因は、どちらも to 不定詞の副詞用法である。しかし、説明する内容が異なる。

目的は、行動が何のために行われたかを示す。

感情の原因は、何によってその感情が生じたかを示す。

to 不定詞の直前にある語だけで判断するのではなく、文全体の意味を確認する。

4. 名詞用法・形容詞用法との違い

to 不定詞が何を説明しているか

to 不定詞の形が同じでも、文中での働きは異なる。

次の 3 文を比較しよう。

Pair 1

I want to draw a picture.

私は絵を描きたい。

Pair 2

I have a picture to draw.

私には描く絵がある。

Pair 3

I sat down to draw a picture.

私は絵を描くために座った。

1 文目の **to draw a picture** は、want の内容を表している。「何をしたいのか」に答える名詞用法である。

2 文目の **to draw** は、直前の名詞 a picture を説明している。「どのような絵か」を示す形容詞用法である。

3 文目の **to draw a picture** は、sat down（座った）という行動の目的を説明している。「何をするために座ったのか」に答える副詞用法である。

用法	to 不定詞の働き	判断の手がかり
名詞用法	「〜すること」という内容を表す	何をすることか
形容詞用法	名詞を説明する	どのような名詞か
副詞用法	行動の目的や感情の原因などを説明する	何のためか、なぜその感情か

to 不定詞をすべて目的と考えない

to 不定詞を見つけても、必ず「〜するために」と訳せるわけではない。

名詞用法なら「〜すること」、形容詞用法なら「〜するための」「〜する」といった意味になる場合がある。

また、感情を表す形容詞の後ろにある to 不定詞も、位置だけで原因用法と決まるわけではない。

形と位置を確認したうえで、to 不定詞が何を説明しているかを考えることが、用法を見分ける基本である。

例題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。買い物に行った目的を to 不定詞で表すものとする。

Ken walked to the shop (　　) some milk.

A. buying

B. to buy

C. bought

D. to buying

解答・解説

正解：B

まず、文の中心となる行動を確認する。

Ken walked to the shop は「ケンは店まで歩いて行った」という意味である。

空所の後ろには some milk があり、ここでは牛乳を買うことが、店へ行った目的として示されている。

目的を表す to 不定詞には **to＋動詞の原形** を使うため、to buy が適切である。

Pair 1

Ken walked to the shop to buy some milk.

ケンは牛乳を買うために店まで歩いて行った。

各選択肢の確認

A. buying：動詞の ing 形であり、この位置では「牛乳を買うために」という目的を表す to 不定詞にならない。

B. to buy：正しい。to＋原形の形で、店へ行った目的を説明している。

C. bought：buy の過去形であり、walked に続けるだけでは目的を表せない。

D. to buying：目的を表す to 不定詞では、to の後ろに動詞の原形が必要である。buying は使えない。

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。感情の原因を to 不定詞で表すものとする。

Mina was relieved (　　) her lost key.

A. to find

B. to finding

C. find

D. found

解答・解説

正解：A

まず、Mina was relieved に注目する。

relieved は「ほっとした」という感情を表す形容詞である。

空所には、その感情が生じた原因が続く。

なくした鍵を見つけたことによってほっとした、という関係なので、ここでは感情の原因を表す to 不定詞を使う。

Pair 1

Mina was relieved to find her lost key.

ミナはなくした鍵を見つけてほっとした。

各選択肢の確認

A. to find：正しい。to＋原形の形で、ほっとした原因を説明している。

B. to finding：この文で必要な to 不定詞は、to＋動詞の原形である。finding は使えない。

C. find：動詞の原形だけでは、relieved の後ろに原因を表す to 不定詞を作れない。

D. found：find の過去形であり、そのまま続けても感情の原因を表す to 不定詞にならない。

©ミライコーチング

演習問題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。お金を貯めた目的を to 不定詞で表すものとする。

Yui saved money (　　) a new bike.

A. bought

B. to buying

C. to buy

D. buys

2

次のうち、to 不定詞が行動の目的を表している英文を一つ選べ。

A. I want to learn English.

B. I came here to learn English.

C. I have books to read.

D. I was shocked to hear that.

3

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。放課後に残った目的を to 不定詞で表すものとする。

The students stayed after school (　　) the room.

A. to cleaning

B. clean

C. cleaned

D. to clean

4

次のうち、to 不定詞が行動の目的を表している英文を一つ選べ。

A. She has a letter to write.

B. She likes to write letters.

C. She sat down to write.

D. She was glad to hear that.

©ミライコーチング

5

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。地図を持って行った目的を to 不定詞で表すものとする。

We took a map (　　) our way.

A. finds

B. to find

C. to finding

D. found

6

次のうち、to 不定詞が行動の目的を表している英文を一つ選べ。

A. He was surprised to hear that.

B. He has work to finish.

C. He plans to travel soon.

D. He came to help us.

7

次のうち、to 不定詞が感情の原因を表している英文を一つ選べ。

A. I was shocked to see it.

B. I stopped to see it.

C. I need to see it.

D. I have things to see.

8

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。悲しくなった原因を to 不定詞で表すものとする。

Mai was sad (　　) the bad news.

A. to hearing

B. heard

C. hear

D. to hear

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：C

saved money は「お金を貯めた」という行動であり、to buy a new bike がその目的を表している。

Pair 1

Yui saved money to buy a new bike.

ユイは新しい自転車を買うためにお金を貯めた。

各選択肢の確認

A. bought：過去形であり、saved money にそのまま続けても目的を表せない。

B. to buying：目的を表す to 不定詞では、to の後ろに buying ではなく buy を置く。

C. to buy：正しい。自転車を買うことが、お金を貯めた目的になっている。

D. buys：三人称単数現在形であり、ここで必要な目的を表す to 不定詞にならない。

2

正解：B

came は「来た」という行動であり、B の to learn English が「英語を学ぶために」という目的を表している。

Pair 1

I want to learn English.

私は英語を学びたい。

Pair 2

I came here to learn English.

私は英語を学ぶためにここへ来た。

Pair 3

I have books to read.

私には読む本がある。

Pair 4

I was shocked to hear that.

私はそれを聞いてショックを受けた。

各選択肢の確認

A. want の後ろの to learn English は、「英語を学ぶこと」という want の内容を表す名詞用法である。

B. 正しい。to learn English は、来た目的を説明する副詞用法である。

C. to read は、books という名詞を説明する形容詞用法である。

D. to hear that は、ショックを受けた原因を表す副詞用法である。副詞用法ではあるが、行動の目的ではない。

3

正解：D

stayed after school は「放課後に残った」という行動を表す。その目的が部屋を掃除することなので、to clean を使う。

Pair 1

The students stayed after school to clean the room.

生徒たちは部屋を掃除するために放課後に残った。

各選択肢の確認

A. to cleaning：to 不定詞では、to の後ろに動詞の原形が必要であり、cleaning は使えない。

B. clean：原形だけでは、この文で目的を表す to 不定詞を作れない。

C. cleaned：過去形をそのまま続けても、stayed との関係を正しく表せない。

D. to clean：正しい。放課後に残った目的を表している。

4

正解：C

sat down は「座った」という行動である。C の to write は、その行動の目的を表している。

Pair 1

She has a letter to write.

彼女には書く手紙がある。

Pair 2

She likes to write letters.

彼女は手紙を書くことが好きだ。

Pair 3

She sat down to write.

彼女は書くために座った。

Pair 4

She was glad to hear that.

彼女はそれを聞いてうれしかった。

各選択肢の確認

A. to write は、a letter を説明する形容詞用法である。

B. to write letters は、likes の内容を表す名詞用法である。

C. 正しい。to write は、「何をするために座ったのか」を説明する副詞用法である。

D. to hear that は、うれしかった原因を表す副詞用法である。行動の目的ではない。

5

正解：B

took a map は「地図を持って行った」という行動である。

道を見つけることがその目的なので、to find を使う。

Pair 1

We took a map to find our way.

私たちは道を見つけるために地図を持って行った。

各選択肢の確認

A. finds：三人称単数現在形であり、この位置では目的を表せない。

B. to find：正しい。地図を持って行った目的を表している。

C. to finding：目的を表す to 不定詞では、to の後ろに動詞の原形 find が必要である。

D. found：過去形であり、そのまま続けても目的を表す形にならない。

6

正解：D

D では、came が「来た」という行動を表し、to help us が「私たちを助けるために」という目的を付け加えている。

Pair 1

He was surprised to hear that.

彼はそれを聞いて驚いた。

Pair 2

He has work to finish.

彼には終わらせる仕事がある。

Pair 3

He plans to travel soon.

彼は近いうちに旅行することを計画している。

Pair 4

He came to help us.

彼は私たちを助けるために来た。

各選択肢の確認

A. to hear that は、驚いた原因を表す副詞用法である。

B. to finish は、work を説明する形容詞用法である。

C. to travel soon は、plans の内容を表す名詞用法である。

D. 正しい。to help us は、来た目的を説明する副詞用法である。

7

正解：A

shocked は「ショックを受けた」という感情を表す。A の to see it は、ショックを受けた原因を説明している。

Pair 1

I was shocked to see it.

私はそれを見てショックを受けた。

Pair 2

I stopped to see it.

私はそれを見るために立ち止まった。

Pair 3

I need to see it.

私はそれを見る必要がある。

Pair 4

I have things to see.

私には見るものがある。

各選択肢の確認

A. 正しい。to see it は、ショックを受けた原因を表す副詞用法である。

B. to see it は、立ち止まった目的を表す副詞用法である。感情の原因ではない。

C. to see it は、need の内容を表す名詞用法である。

D. to see は、things という名詞を説明する形容詞用法である。

8

正解：D

sad は「悲しい」という感情を表す形容詞である。

その後ろに to hear the bad news を置くことで、悪い知らせを聞いたことが悲しみの原因だと示せる。

Pair 1

Mai was sad to hear the bad news.

マイはその悪い知らせを聞いて悲しかった。

各選択肢の確認

A. to hearing：この文で感情の原因を表す to 不定詞には、動詞の原形 hear を使う。

B. heard：過去形をそのまま sad の後ろに続けても、感情の原因を表す正しい文にならない。

C. hear：動詞の原形だけでは、sad の後ろに原因を表す to 不定詞を作れない。

D. to hear：正しい。悲しくなった原因を表す副詞用法である。